

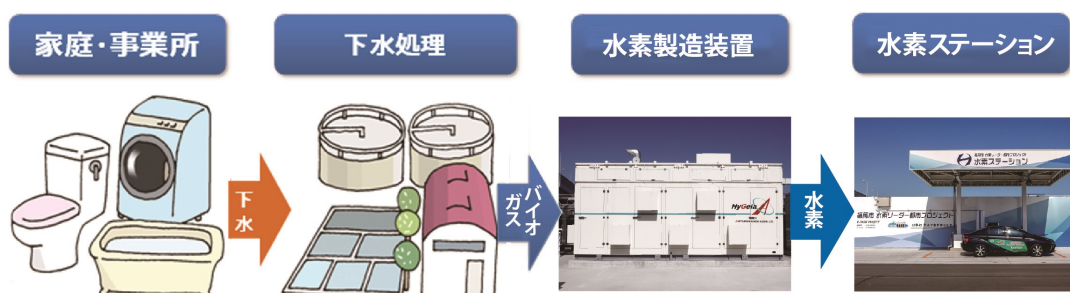
## 三菱化工機ニュース（プレスリリース情報）

No.445 平成30年2月9日  
企画部 経営企画グループ

“福岡市水素リーダー都市プロジェクト～下水バイオガス原料による水素創エネ技術の導入～”が一般財団法人新エネルギー財団の新エネルギー財団会長賞（導入活動部門）を受賞

三菱化工機株式会社（社長：高木 紀一）は、平成26年度から、福岡市中部水処理センター（福岡市中央区荒津2-2-1）において下水汚泥を処理する過程で発生するバイオガスから水素を取り出し、燃料電池自動車（FCV）に供給する商業規模では世界初の実証事業を産学官連携により実施しています。

この度、この取り組みが一般財団法人新エネルギー財団の新エネルギー財団会長賞（導入活動部門）を受賞しましたのでお知らせします。



## 1 新エネルギー財団会長賞表彰について

## (1) 概要

本表彰制度は、新エネルギーの一層の導入促進と普及及び啓発を図るため、新エネルギーに係る商品及び新エネルギーの導入、あるいは普及啓発活動を広く募集し、そのうち優れたものを表彰するものです。

## (2) 受賞内容

①種類：新エネルギー財団会長賞（導入活動部門）\* 同部門賞は他に2件

②評価ポイント：下水処理で発生する下水バイオガス（消化ガス）から高濃度の水素を製造し、水素ステーションで燃料電池自動車（FCV）に供給するプロジェクトである。下水処理から水素というイメージを世界的に初めて実現したものであり、経済性にも優れており、世界の多くの都市へも広がるのが期待されるとして評価された。

## ③受賞者

福岡市		市長	高島 宗一郎
九州大学(公立鳥取環境大学 教授)		客員教授	田島 正喜
豊田通商株式会社	新規事業開発部	部長	中川 浩司
三菱化工機株式会社	水素エネルギープロジェクト部	部長	山崎 明良

## (3) 授賞式

①日時：平成30年2月14日（水）14：00～

②会場：東京ビッグサイト〔東京国際展示場（江東区有明）〕会議棟703会議室

※「ENE X 2018 第42回地球環境とエネルギーの調和展」に併せて開催

お問い合わせ先

## 三菱化工機ニュース（プレスリリース情報）

No.445 平成30年2月9日  
企画部 経営企画グループ

“福岡市水素リーダー都市プロジェクト～下水バイオガス原料による水素創エネ技術の導入～”が一般財団法人新エネルギー財団の新エネルギー財団会長賞（導入活動部門）を受賞

### 2 下水バイオガス水素ステーションについて

#### (1) 概要

国土交通省の平成26年度下水道革新的技術実証事業（B-DASHプロジェクト）の採択により、国土技術政策総合研究所からの委託研究を実施。

平成27年3月末に水素ステーションを開設、同年11月より一般のFCVへの水素充填を開始。

下水バイオガスを用いて水素を製造し、実用規模の水素ステーションにてFCVに供給するという世界的にも初めての事業である。



下水バイオガス水素ステーション 外観

①場 所：福岡市中部水処理センター内〔中央区荒津2-2-1〕

#### ②実証体制

福岡市	実証フィールド及び下水バイオガス提供、実証事業支援
九州大学	下水バイオガス由来の微量成分が水素製造プロセスに及ぼす影響評価
豊田通商株式会社	事業性採算性評価
三菱化工機株式会社	水素製造とCO2分離技術を含めた水素ステーション全体の設計、建設、実証

#### (2) 事業のポイント

##### ①グリーン水素（再生可能エネルギー由来水素）の実用化

- ・本プロジェクトで製造する水素は下水由来のため、新たなエネルギーを創出すると共に、温室効果ガス排出量の削減が可能。
- ・さらに、水素製造のためバイオガスから取り出したCO2を液化回収し、ハウス栽培に試験的に利用するなど有効活用を実施。

##### ②エネルギーの地産地消

- ・生活排水から水素を製造するため、世界のどの都市でも展開が可能であると共に、地産地消エネルギーとしての有効利用が期待される。

以上

お問い合わせ先